

## 【総領事館からのお知らせ:安全対策情報:6月】

平成23年6月10日(総11第20号)  
在デンパサール日本国総領事館

### 1 治安情勢

- (1) 5月25日、午前11時頃(西部インドネシア時間)、スラバヤ・ジュアンダ国際空港に、少なくともジャカルタ行きの2便を爆破する旨の脅迫Faxが届き、海軍等当局が捜索した結果、待合室にセメント袋に入ったダイナマイト・パワー・ジェルその他、組み立て済み爆弾が発見された。  
外務省海外安全ホームページにこの事案に関するスポット情報が掲載されています。また、テロに対する総合的な情報を提供しています。<http://www2.anzen.mofa.go.jp/info/pcinfectionspothazardinfo.asp?id=002#header>
- (2) 5月27日、ウダヤナ第9管区陸軍司令官の交代式でジョージ・トイスタ陸軍参謀長は、全国的に拡大しつつある「インドネシア・イスラム国(NII)」運動の脅威につき、現在までバリ州は無菌状態であり、同運動を行っている者達はイスラム教徒とは言えないと述べた。
- (3) 6月1日、当地ングラ・ライ空港に午後3時30分に爆破するよう仕掛けた爆弾を設置した旨の脅迫があった。警察等当局が同空港を捜索したが爆弾らしき物は見あたらなかった。
- (4) 6月4日、午前1時頃、タバナン県ニャニ海岸にあるビラに宿泊のフランス人夫妻が強盗被害にあい、宝飾品、ノート型パソコン、現金1,000万ルピア等の被害を被った。犯人は4名で、警備員は常駐していない。

### 2 一般情勢

- (1) 当地ングラ・ライ国際空港を管理する第一アンカサ・プラ社社長によれば、空港施設拡張に140家屋及び小学校1校が移転する必要があり、既に35家屋が移転している。年間800万人が利用予定で建設された同空港は現在1110万人が利用しており、この拡張工事によって2025年には年間2460万人が利用できる見通しを示した。
- (2) バリ州警察本部によれば、2006年から2011年までの1年当たりの平均交通事故件数は1,500件、そのうち、死亡者数は550名に上り、毎年死傷者数は増加しており、2010年は事故件数2,441件、うち死亡者数は606名に上っている。州警察本部は交通管理センターを建設し、諸要地に設置のCCTVからモニタリングを行う。CCTVは56カ所に設置が終了している。  
バリ州の人口は静岡県と同程度ですが、静岡県での平成21(2009)年の交通事故による死者は179人です。約3.4倍と非常に高くなっています。インドネシアでは残念ながら交通ルールが守られていませんが、日本人を含む外国人が交通ルールを守らなくて良い理由にはなりません。ヘルメット非着用、飲酒運転等は違法となります。
- (3) 国立サンラ病院法医学室によれば、本年1月から4月までの間に同室で死亡が確認された外国人は56名に上り、主な国籍別ではオランダ人11名、日本人8名、オーストラリア人5名、ロシア人4名となっている。
- (4) バリ州保健局によれば、本年1月から4月までのバリ州内における犬による咬傷件数は19,144件あり、そのうち、18,745名に狂犬病ワクチン(VAR)を接種した。狂犬病については当館ホームページを参照してください。[http://www.denpasar.id.emb-japan.go.jp/japan/04\\_02safe](http://www.denpasar.id.emb-japan.go.jp/japan/04_02safe)

[html#id1](#))

- (5) バリ・アート・フェスティバル主催委員会によれば、6月10日の第33回バリ・アート・フェスティバル開会式にスシロ・バンバン・ユドヨノ大統領が来訪して開会宣言を行う予定。翌11日夕方は同フェスティバルのパレードが行われる。
- (6) 6月7日、バリ州観光局によれば、ドイツや米国で感染が拡大しているE-coli (腸管出血性大腸菌「O(オー)104」)は、今のところバリ観光事業に影響を及ぼしていない。バリ州保健局は既に感染を防ぐ対策を講じている。必要な場合は関係国からの旅行者に対する検査実施もありえるが、現在はバリ州保健局からの情報待ちである。

### 3 邦人事故・事件関連

- (1) 子供を学校に通わせている在留邦人の世帯に、学校の教員を名乗る者から電話があり、子供が学校で怪我をしたので医師に電話するよう指示された。指示された番号に掛けると治療費支払いが必要と言われ、振込先の口座番号を指定された。念のため学校に電話したところ、子供には異常がないことが分かり、詐欺と判明した。
- (2) 6月7日、覚醒剤所持容疑で逮捕されていた邦人男性に対して、デンパサール地検は5年の禁固刑と8億ルピアの罰金を求刑し、デンパサール地裁は4年の禁固刑と8億ルピアの罰金を内容とする判決を下した。

以上